



## 「墨流し水球絵画」の概要について

### ◆提案代表者

筑波大学 教授 逢坂 卓郎(おうさか たくろう)

### ◆実施概要

#### <きぼうでの実施>

水を用いて直径約8cmの水球を針金上につくり、7種類のインクを用いて水球表面に模様をつくる。模様は、半球型の和紙に吸い取り乾燥させて、地球に回収する。また、一連の水球の様子をハイビジョンカメラに撮影する。

#### <地上活動>

映像を編集し、回収した和紙とともに公開・展示する予定。

### ◆目的

ギリシャの哲学者ターレスが発言した「万物の根源である水」を地球から遊離させ、水球に様々な刺激を与えて有機的な模様や色彩の変化を浮かび上がらせます。地球大気に見られる雲の流れのような美しい現象を東洋で生まれた墨流し技法により制作します。

### ◆このテーマに対する逢坂教授のことば(実施前)

水球に働く表面張力に様々な種類のインクを加えることで変化を与えます。表面張力の変化により水球表面には運動が occurs。これによりどのような立体絵模様を仕立て上げるか興味深いです。



逢坂卓郎 教授



墨流しのイメージ